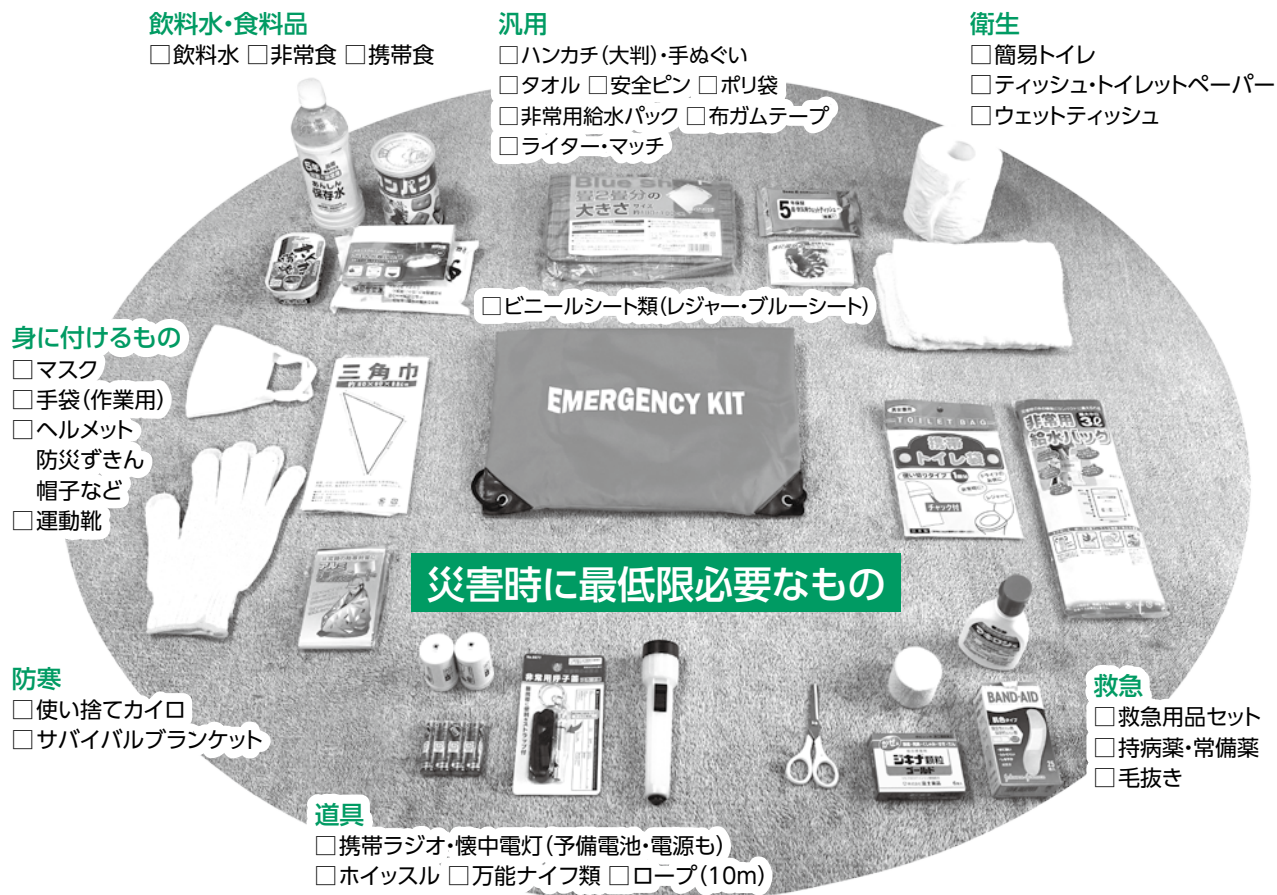




忘災から防災へ 今、私たちにできること



自助:一人一人が自ら取り組むこと

共助:地域や身近にいる人同士と一緒に取り組むこと

公助:国・都道府県・市区町村などが取り組むこと

「歳をとって昔みたいに元気に動けなくなっただな」「近くに住んでいるのに、話したことない人がおったわ」「合併で役場が遠くなったし、役場職員もすぐに駆けつけられない可能性もあるよね」という声が聞こえてきます。こは「支え愛マップ」を作っている会場です。そんな中、「じゃあ、これからどうしたらいいの?」と口にする参加者。東さんはこう答えます。

「皆さんも感じている身の回りの変化や、頻発する自然災害で、これまでの防災の常識が通用しなくなりました。長い間、防災の基本とされてきた『自助』『共助』『公助』のバランスが崩れ、それぞれの間に隙間ができてつづつあります。隙間を埋められない今、隙間をつなぐのが『近所』の力です。そして、近所の力を取り戻す鍵が、普段の気配りや心配りです」。

普段の気配りや心配りを「支え愛」という東さん。一見、当たり前のようにも思えるけれど、気付かないうちに失いかけていたもの。

「支え愛」。それが、防災のみならず、これからの地域づくりの鍵を握っているのかもしれない。

「防災の鍵は『近所』。そして『支え愛』」

「神戸の記憶」

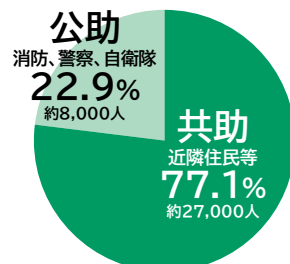
東さんが、そう語る理由。そして、東さんを防災士にしたもう一つの理由が、出身地、神戸にあります。平成7年1月17日午前5時46分、マグニチュード7.3の地震が兵庫県南部で発生。「阪神・淡路大震災」です。

方からのさまざまな支援のおかげで、今の僕がいます」と、東さんは当時を振り返ります。



東灘区深江本町阪神高速倒壊現場(提供:神戸市)

阪神・淡路大震災における救助の主体と救出者数



出典:内閣府「平成28年度版防災白書」



自宅で非常用持ち出し袋の中身を考える東さん

「特別なことをしようと考えなくていいんです。『普段の活動×〇〇』防災」と考えることが大切」と東さん。「普段の活動に、何を掛け合わせれば、防災につながるか」を考えるだけで防災が身近なものになると思います。例えば、「近所付き合い×あいさつ」「サロン×乾パン」「運動会×バケツリレー」というように。

そして、「自分が普段使っているものが、災害時にどう役に立つか」を考えることも、大きな一歩です。忘災から防災へ。

非常用持ち出し袋の中身を考えよう

災害時に最低限必要なものに加えて、自分や家族に必要なものを考えてみましょう。

避難生活をより快適にするもの			状況に合わせて追加するもの		
	品 目	用 途		品 目	用 途
衣	☐ 衣類	季節・個々の状況により必要・量を判断	貴重品	☐ 予備鍵(家・車等)	
	☐ 毛布			☐ 予備メガネ・コンタクトレンズ	
	☐ 雨具(ポンチョ・雨合羽など)	両手が使える、防寒具にもなる		☐ 通帳・証書類のコピー	
食	☐ 保存食類	お米、乾・干物、豆、根菜類、乾パン、アルファ米、切り餅、インスタント食品、缶詰類など、嗜好とも照らして	女性	☐ 印鑑	
	☐ 塩・調味料			☐ 生理用品(おりものシート)	備の手当て、ガーゼの代用として重宝
	☐ 食器類(皿・コップ・箸・フォーク・スプーン)	紙・ステンレスなど		☐ 防犯ブザー	
	☐ ラップ	食器に巻くと洗わずに済み、水の節約に		☐ くし・ブラシ、鏡	
	☐ アルミホイル			☐ 化粧品	
	☐ カセットコンロ・ボンベ			☐ 髪の毛をくくるゴム	お風呂に入れない時、不快感が軽減
	☐ 鍋		高齢者	☐ 紙おむつ	
住	☐ 歯磨きセット・洗口剤			☐ 介護用品	
	☐ 石けん			☐ 入れ歯	
	☐ ドライシャンプー			☐ 補聴器	
	☐ 重曹	消臭スプレー、掃除用など多用途	乳幼児	☐ 粉ミルク・哺乳瓶、離乳食	
	☐ 風呂敷	包んだり巻いて防寒対策に、汎用性高い		☐ 洗淨綿	
あとと便利	☐ 予備電池(バッテリー)			☐ パスタオル	
	☐ 工具類	ジャッキ、パール等		☐ 紙おむつ	
	☐ 地図(避難用・帰宅支援用など)		障害者・外国人など	☐ 抱っこひも	
	☐ 新聞紙・ダンボール			☐ 助けを求める手段	ホイッスル、サイレンなど
	☐ ローソク	電気がない時用、火事には十分用心の上		☐ 移動を助ける手段	杖、白いテープ、おんぶ紐など
	☐ タンク類	水を運び、蓄える		☐ 情報を得る手段	ラジオ、ワンセグ、拡大鏡など
	☐ キッチンペーパー		ペット	☐ コミュニケーションを助ける手段	聴取用具、レコーダー、コミュニケーションボードなど
	☐ ホワイトボード	メモ掲示・情報伝達、紙・物資不足時便利		☐ 落ち着ける・安心できるもの	お気に入りのグッズなど
	☐ さらしの布	汎用性が高く、抱っこ紐の代わりにも		☐ 要支援者と確認できる外装	ゼッケン、ワッペンなど
	☐ スリッパ	避難所での上履きとして		☐ ペット用品	迷子札など
	☐ 蚊取り線香	夏場の屋外避難に備えて	普段使っているもの、すでに使わなくなったもので代用できればベスト。100円均一のお店でも手に入るものがたくさんあります		